

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：経済思想 ILAS Seminar :Economic Thoughts			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 大黒 弘慈		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	10(10)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	月5	教室	共北3B			使用言語	日本語
キーワード	貨幣 / 信用 / 権力 / 負債 / 贈与						
(総合人間学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。)							
[授業の概要・目的]							
経済学の狭い枠にこだわらず、経済の本質にかかわる啓蒙的な本を土台に、問題意識の発掘に努める。							
[到達目標]							
現代経済の諸問題に対症療法的にバラバラに論じるのではなく、そのつど理論と思想に還元しながら体系的に理解する姿勢を養う。							
[授業計画と内容]							
貨幣は、あらゆる物が買えるという意味で、それがなければまともな社会生活が送れないと同時に、億万長者を夢想する守銭奴が、社会と縁を切ってひたすら蓄財に励む手段ともなりうる。こうした貨幣の逆説は、アリストテレスの古代から現代にいたるまで、人の注意を惹きつけてやまなかった。バブル崩壊、ユーロ統合、金融恐慌、仮想通貨、現代貨幣理論(MMT)などのきわめて現代的な現象もこのことと無縁ではない。このゼミでは、必ずしも経済学の枠にこだわらず、おもに貨幣と信用にかかわる書物を通じ、視野を広く取って問題意識の発掘に努めたいと思う。以下のような課題について、それぞれ2～3週授業をする予定である。あるいは年度に応じて2～3の課題を集中的に取り上げることがある。 1. 比例と交換(マルクス、アリストテレス、交換的正義、配分的正義) 2. 類似と铸貨(グレシャムの法則、コペルニクス、ニュートン、贋金づくり) 3. 模倣と信用(バジョット、タルド、国家と中央銀行) 4. 流行と慣習(スミス、ヴェブレン、先祖がえり) 5. 模倣と権力(高田保馬、勢力意志、従属本能、威信への渴望) 6. 金融化と世界システム論(アリギ、覇権循環、金融拡大、儒教的市場経済) 7. 負債と贈与(グレーバー、物々交換神話、原初的負債論、イヌイット) 8. ポスト・ヒューマニズムとポスト・キャピタリズム(人新世、人間の終焉) (授業回数はフィードバックを含め全15回とする)							
[履修要件]							
後期「経済原論基礎ゼミナール」の連続した履修が望ましい。							
----- ILASセミナー：経済思想(2)へ続く↓↓↓							

ILASセミナー：経済思想(2)

[成績評価の方法・観点]

平常点評価50点（討論への積極的参加25点、個別報告25点）、学期末レポート50点により、総合的に評価する。

レポート及び個別報告については、到達目標の達成度に基づき評価する。

なお学期末レポートを提出しない場合は0点とする。

[教科書]

未定

[参考書等]

（参考書）

大黒弘慈 『貨幣と信用』（東京大学出版会）ISBN:4-13-040172-6

大黒弘慈 『模倣と権力の経済学：貨幣の価値を変えよ（思想史篇）』（岩波書店）ISBN:978-4000253208

その他、授業中に適宜紹介する。

[授業外学修（予習・復習）等]

指定された古典を、適切な二次文献を参照にしながら、徹底的に読み込む。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]